＜記入例＞

注意事項

1 本書は、特別徴収の従業員等が、異動（退職・転勤等）した場合にご提出いただく用紙です。提出期限は、該当の従業員等の異動があった月の翌月10日までです。

2 従業員等の住所変更のみの場合は、提出不要です。太枠内へ記入してください。

3 異動により給与等を支払しなくなった場合、その年の1月1日から異動時までの間で確定した給与等を本書とは別に、翌年の1月31日（土日の場合は、2月第1月曜日）までに給与支払報告書（個人別明細書及び総括表）として提出してください。

受付印

8

市町村民税 道府県民税 給与支払報告 特別徴収 に係る給与所得者異動届出書

整理番号

泉大津市長

令和 年 月 日 提出

給与支払者（特別徴収義務者）	所在地	〒595-8686 泉大津市東雲町9番12号	
	名称	○○○ 株式会社	
	個人番号又は法人番号（右詰めでご記入ください）	1 2 3 4 5 6 7 8 9 0 1 2 3	
担当者	課係	経理	7年度 特別徴収指定番号
	氏名	大阪 花子	
	電話番号	0725-33-1131	8年度 特別徴収指定番号 19876543
	内線	1234	

宛名番号	24680		
給与所得者	フリガナ	イズミオオツ タロウ	新姓
	氏名	泉大津 太郎	
	生年月日	元号 3 ← 1.明治 2.大正 3.昭和 4.平成 57年 6月 10日	
	個人番号	＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊	
	住所 1月1日現在	泉大津市旭町○番○号	
	住所 異動後	泉大津市西港町○番○号	

(ア) 特別徴収税額（年税額）	(イ) 徴収済税額	(ウ) 未徴収税額 (ア)－(イ)	異動年月日	異動の事由 ※事業主及び従業員の希望のみによる普通徴収への切替はできません。	異動後の未徴収税額の徴収方法
円	円	円			
132,900	6 月分から 9 月分まで 44,900	10 月分から 5 月分まで 88,000	令和 8 年 9 月 30 日	番号を記入 2 ← 1.転勤・転職 2.退職 3.死亡 4.休職 5.長欠 6.支払少額 7.支払不定期 8.その他 8.その他の理由を右欄へ記入	番号を記入 3 ← 1 特別徴収継続 2 一括徴収 3 普通徴収（本人が納付）

（例）11月10日納期限分の場合→10月分

1 特別徴収継続の場合（給与所得者が、新しい勤務先で特別徴収を希望する場合に記入してください。）

新しい勤務先（特別徴収義務者）	所在地	〒 新規 ☐	特別徴収指定番号
	名称	フリガナ	法人番号 ※新しい勤務先が法人の場合は、ご確認の上記入してください。
担当者	氏名		
	電話		

新しい勤務先へは、月割額 円 を 月分（翌月10日納期限）から徴収し、納入するよう連絡済みです。
※新しい勤務先へ月割額をお伝えください。

受給者番号

納入書の要否（新規の場合のみ記載） 番号を記入 ← 1 必要 2 不要

2 一括徴収の場合（未徴収税額を一括徴収する場合に記入してください。）※従業員が国外へ転出するとわかっている場合、一括徴収にご協力ください。

番号を記入 ← 1.異動年月日が12月31日以前でかつ本人からの申出があったため。 2.異動年月日が1月1日以降でかつ特別徴収の継続の希望がないため。

徴収予定額（(ウ)と同額）を右欄に記入 円

左記の一括徴収した税額は、 月分（翌月10日納期限）で納入します。

3 普通徴収の（一括徴収しない）場合 1・2に当てはまらない場合に記入してください。）

番号を記入 1 ← 異動年月日が1月1日～4月30日の場合は、原則、一括徴収してください。
1.異動年月日が6月1日～12月31日でかつ本人からの申出があったため。
2.異動年月日が1月1日～4月30日でかつ給与及び退職手当等から未徴収税額（ウ）を一括徴収できないため。
3.死亡による退職のため。

◎死亡退職された場合（残額は普通徴収となります）

相続人（納税承継人） 住所 氏名 続柄

特別徴収指定番号及び宛名番号は、特別徴収税額決定・変更通知書（納税通知書（特別徴収義務者用））をご確認ください。

市処理欄

旧特別徴収処理欄	6年度	月分以降の月割額は	1 特別徴収義務者を変更 2 普通徴収へ切替 3 一括徴収 4 その他	入力者	点検	
	7年度	月分以降の月割額は	1 特別徴収義務者を変更 2 普通徴収へ切替 3 一括徴収 4 その他	入力者	点検	

※届出対象者が複数名おられる場合は、コピーしてお使いください。